

成城学園初等学校

〒157-8522 東京都世田谷区祖師谷 3-52-38 Tel. 03-3482-2106 <https://www.seijogakuen.ed.jp/shoto/>
【交通】小田急小田原線成城学園前駅下車徒歩 10 分

【理事長】 宮島 和美
【学園長】 戸部 順一
【校長】 高橋 丈夫

個性を伸ばし、情操豊かな 真の人間育成をめざす教育

「子どもを中心に考えた」学校づくり

基本方針 「子ども達は、それぞれに違った天分や能力を持っている。それらを学校生活の中で発見し、遺憾なく発揮せしめること。」この教育の基本方針を基に、創立以来一貫して「子どもを中心に考えた学校づくり」をめざし、「文学・劇・映像・遊び・散歩」など、多彩なカリキュラムを用意しています。

第2世紀の教育改革“3本柱” 創立100年を超えた今、本校の四つの希望理想—
◇個性尊重の教育 ◇自然と親しむ教育 ◇心情の教育 ◇科学的研究を基とする教育—に加えて、さらに「第2世紀の教育」として次の3本柱を掲げました。

☆国際教育—世界の文化を深く知る教育の実践—
☆理数系教育—観察する力と論理的思考力を養う—
☆情操・教養教育の深化

幼稚園から大学までの一貫教育

創立の精神に則り、幼稚園から大学まで、19年間にわたる一貫教育を行っています。現在、情報一貫教育と英語一貫教育それぞれにCanDoリストを作って指導にあたっています。継続的な指導を行うことにより、一人ひとりの伸びを見守っていきます。

わが国の教育改革を牽引する

“本物に触れる”ことこそ大事であるとの考えから、音楽鑑賞会・観劇会等を開催。教科教育は、1年生からの教科専科制を実施。1年生から6年生までが一緒にグループを作って活動する「つながり」という異年齢活動を取り入れています。国語の学習では辞書の引き方を徹底し自ら調べ学んでいく基礎を育んでいます。どの教科もこれからの時代に活躍する「自主自立」「独立独行」の高い人間教育をめざしています。

大正時代から英語教育を開始。加えて、小学校で初めての、こども図書館設立・本格的なスキー学校実施・子どもによる劇の上演。1年生から「本物に触れる」機会を作っています。このように、常により良い教育を研究、カリキュラム化して実践しています。これからも社会を「変えていく力」を持つ逞しいリーダー育成をめざし研究を続けていきます。

上級学校に進むには

初等学校の推薦により、成城学園中学校へ進学できます。

一人ひとりの個性を伸ばす

初等学校 校長 高橋 丈夫

「学校は子どもたちのためにあるべき」と言う考え方のもと、児童一人ひとりに、感じる心と、考え、想像し、表現する力を持ってほしいと願っています。子ども・保護者・先生の「三位一体」の教育を実践し、子どもたちは緑豊かな環境で、だんだんと視野を広げ、自信を身に付けていきます。

2019年9月、子どもたちの「つながり」と「学び」を豊かにする新校舎に移転しました。木の温もりを常に感じる居心地の良い教育環境です。ぜひ本校にお越しいただき、子どもたちの毎日の授業や生活の様子を參觀ください。



沿革

大正6年、日本の小学校教育革新のために、澤柳政太郎博士によって創設された。大正11年に中学校、同14年に幼稚園、同15年旧制7年制高等学校、昭和2年高等女学校と次々に開校。その後、成城大学（昭和25年）、大学院と設けられ、ここに幼稚園から大学院までの一貫した総合学園ができあがった。
2017年に創立100周年を迎えた。

2026年度募集要項

募集人員：男子約34人、女子約34人
Web出願：9月8日～10月4日
書類郵送：Web出願後、10月1日～4日（消印有効）に書類を郵送
出願手続：Web出願後、所定の書類に必要事項を記入し、健康調査書（所定の用紙に医療機関の診断結果を記入）等を同封して郵送。
考査料：30,000円
選考日：
【面接・考査①】男子11月7日・女子11月8日
【考査②】男子11月9日・女子11月10日
受験日は面接・考査①、考査②の2日間来校
合格発表：11月12日 Webで発表
【諸費用（2025年度参考）】
入学金：250,000円
授業料：830,000円〔年額〕（3期に分納可）
その他：施設維持費、空調費、教材費等

併設中学進学状況

希望者は推薦により成城学園中学校に進学

データパック

- ◆児童数646人／教員数36人（非常勤3人を含む）
（2024年5月時点）
- ◆25年度志願者倍率：
男子約5.6倍、女子約5.0倍
- ◆合格者数：男子54人、女子54人
（成城幼稚園からの内部進学者を含む）

【併設校】

- 成城幼稚園
- 成城学園中学校高等学校
- 成城大学・成城大学大学院